

船橋市立リハビリテーション病院 第4次中期目標達成状況評価(案)

1. 採点基準及び評価について

第4次中期目標達成状況の評価にあたっては、各目標ごとの評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。評価および採点の基準は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が十分達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

※事務局注

【採点の基準】

目標1 在宅復帰率

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数(平均在院日数)

目標3 リハビリテーション効果(FIM)

疾患全体が

S・・・目標を達成している。

A・・・目標値の95%以上で達成している。

B・・・目標値の80%以上で達成している。

C・・・目標値の80%未満である。

目標4 入院患者満足度

目標5 外来患者満足度

目標6 訪問患者満足度

＜細項目の採点基準＞

・各目標中の細項目で、目標を達成している・・・S

・各目標中の細項目が目標値の95%以上で達成している・・・A

・各目標中の細項目が目標値の80%以上で達成している・・・B

・各目標中の細項目の実績が目標値の80%未満である・・・C

＜目標の評価＞

S・・・細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である

A・・・細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である

細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である

B・・・細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない

細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である

C・・・細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない

目標7 病床稼働率

目標8 経常収支比率

項目の実績値が

S・・・目標を達成している。

A・・・目標値の95%以上で達成している。

B・・・目標値の80%以上で達成している。

C・・・目標値の80%未満である。

目標9 全職種に対する教育プログラムの実施

目標10 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める

目標11 地域住民との良好な関係を築くよう努める

取り組み実施の状況が

S・・・各年度の行動計画以上の事業を実施した。

A・・・各年度の行動計画どおりの事業を実施した。

B・・・各年度の行動計画にある事業は実施回数が少なかった。

C・・・各年度の行動計画にある事業は実施できなかった。

2. 第4次中期目標達成状況評価

目標1 在宅復帰率 （事業報告書 P27、28）

評価:A

疾患全体は84.1%であり、ほぼ目標(疾患全体85.0%以上)を達成した。

各項目を見ると、脳血管系は目標に届かなかったものの、脳血管系以外の項目は目標を達成していた。令和2年度は、患者が望む早期の在宅復帰に向けて努めていただきたい。

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数 （事業報告書 P29、30）

評価:S

疾患全体は78.6日であり、疾患全体の目標(79.0日以下)は達成した。

来年度も引き続き目標達成を行っていただきたい。

目標3 リハビリテーション効果(FIM) （事業報告書 P31、32）

評価:S

疾患全体は23.4であり、目標(18.0以上)を十分達成した。

各項目をみると脳血管系24.9、整形外科系23.4、廃用症候群17.7と高い水準で達成できていた。次年度も引き続き質の高いリハビリテーションの提供を期待する。

目標4 入院患者満足度 （事業報告書 P33、34、35）

評価:S

全項目において目標が十分達成されていた。

今後も、入院患者の満足度を維持していただきたい。

目標5 外来患者満足度 （事業報告書P36、37）

評価:S

全項目において目標が十分達成されていた。

今後も引き続き質の高い外来リハビリテーションを提供し、満足度を維持していただきたい。

目標6 訪問患者満足度 （事業報告書P38）

評価:S

全項目において目標が十分達成されていた。

今後も引き続き質の高い訪問リハビリテーションを実施し、満足度を維持していただきたい。

目標7 病床稼働率 （事業報告書P39、40）

評価:S

実績は96.5%であり、目標(95.0%以上)を十分達成した。

質の高いリハビリテーションを行うとともに、急性期病院からの紹介患者の確保に努めた結果、高

い稼働率を維持できた。

今後も引き続き、同様の取り組みを行っていただきたい。

目標8 経常収支比率 目標 （事業報告書P41、42）

評価:A

実績は102.9%であり、目標(103.0%以上)とほぼ達成した。

経常利益も前年度から上昇しており、収入の確保や費用の削減に努めていたものと評価できる。
引き続き健全な病院経営を維持していただきたい。

目標9 全職種に対する教育プログラムの実施 （事業報告書P43）

評価:S

新型コロナウイルス感染症による影響を除き充実した教育プログラムが実施されていた。

今後も患者に選ばれる病院であり続けられるよう、次世代を担う人材の育成に取り組んでいただきたい。

目標10 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める （事業報告書P44）

評価:S

退院後も外来・通所・訪問リハビリテーションサービスを実施するとともに、地域リハビリテーション関係者の紹介・相談・助言を行うなど、退院後の継続的なリハビリテーションの実施が促されていた。
今後ともこれらの取り組みを続けていただきたい。

目標11 地域住民との良好な関係を築くよう努める （事業報告書P45）

評価:S

市民公開講座、患者家族教室やロビーコンサートなどを開催していた。

今後とも地域住民が参加できる催しなどを開催するとともに、日ごろから地域との交流に努め、地域の方が親しみやすい病院運営を通して地域リハビリテーションの普及啓発に努めていただきたい。